

令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

ごあいさつ

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会
会 長 三 宅 泉

定時会員総会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

ここ数年、私たちの生活から様々な彩りを奪った新型コロナウイルス感染症が一つの区切りを迎えました。政府は5月8日をもって、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを季節性インフルエンザなどと同等の5類に移行致しました。感染症が終息したわけではありませんが、人と接すること生業としている私たちの業界において、大変喜ばしいことです。とは言え、この数年間で受けたダメージは大きく、足下を見れば新たな問題も出てきております。コロナ禍で減少した会員数の回復、それに伴う指導者の確保、エネルギー高騰対策等、検討すべき課題が山積してしております。また、大変悲しいことに4月には富山県のスイミングプール内で幼児が溺死する痛ましい事故が起きてしまいました。このような事故を二度と起こさぬためにも、安全体制の見直しや指導者の質の向上にも注力していかなければなりません。いつ起こりうるか分からないと肝に銘じ、緊張感をもって営業して参りましょう。そしてこれらの多くの難題を乗り越え、お客様の信頼に応えることこそが、今私たちに求められていることと考えます。

さて、今夏、九州は福岡県を中心に世界水泳・世界マスターズ水泳が開催されます。これらの大会には当協会加盟クラブ所属・出身の選手も多く出場します。WBCさながら、感動が日本国中を包むことを期待して止みません。

思えばわが国におけるスイミングクラブの成り立ちは、昭和39年に開催された東京オリンピックでの惨敗とも言うべき結果を受けて、翌昭和40年に第一号のスイミングクラブが東京に誕生したのがきっかけでした。その後、全国各地に数多くのスイミングクラブが開設されていきました。以来、数十年にわたって、スイミングクラブは世界と対等に戦えるヒーローを作り続けています。子供たちに夢や希望を与え、中・高齢者の健康の礎を支えています。今一度、「スイミングクラブは社会において必要不可欠な存在である」ことに強く自信を持ち、世界では珍しい「街々にスイミングクラブがある意味」について考えていきましょう。「スポーツが生活の傍らにある文化」を牽引しているは紛れもなく私たちの業界です。引き続き多くの国民から愛されるスポーツ施設としてその地位を高めていきましょう。当協会はその役割の一助となるべく、今後も積極的に活動を進めて参りたいと思います。

結びとなりますが、会員の皆様方の事業が繁栄されますことを念頭に協会運営をして参りたいと思いますので、今後とも宜しくご指導・ご協力をお願い申し上げます。定時会員総会のご挨拶とさせていただきます。

令和4年度実施事業

1. 主要会議

(1) 総 会

- 令和4年度定時総会 令和04年06月16日 於：東京ドームホテル会議室
 - ・令和3年度事業報告並びに収支決算を承認
 - ・令和3年度泳力認定推進事業登録クラブを表彰（授賞式割愛）
（優秀クラブ賞109クラブ、最優秀クラブ賞121クラブ、特別賞A賞1クラブ、特別賞B賞14クラブ）
 - ・第28回全国表彰（優良指導者・優秀コーチ・功労者表彰）
（優良指導者：金賞25名・銀賞16名・銅賞33名、優秀コーチ1名、功労者7名）
- 令和4年度臨時総会 令和05年03月09日 於：ホテルメトロポリタンエドモント

(2) 理事会

- 令和4年度第1回理事会 令和04年05月19日 於：ANAクラウンプラザホテル岡山会議室
 - ・令和3年度事業報告並びに収支決算を承認
 - ・新規入会の承認（登録クラブ5クラブ）
 - ・令和4年度定時総会開催並びに議案に関する件の承認
 - ・第28回全国表彰者の承認
 - ・「中国支部規則」一部改定について
- 令和4年度第2回理事会 令和04年09月30日 於：ザ クラウンパレス新阪急高知
 - ・令和4年度中間収支状況の承認
 - ・新規入会の承認（今回申請無し）
 - ・任期満了に伴う令和5年度役員の選任について
- 令和4年度第3回理事会 令和05年01月12日 於：東京ドームホテル
 - ・令和5年度事業計画及び予算案の検討
 - ・新規入会の承認（正会員1社、登録クラブ1クラブ）
 - ・令和4年度臨時総会開催並びに議案に関する件の承認
 - ・発達障害および知的障害の研修についての検討
- 令和4年度第4回理事会 令和05年03月09日 於：ホテルメトロポリタンエドモント
 - ・令和5年度事業計画及び予算案を承認
 - ・新規入会の承認（正会員2社、登録クラブ2クラブ、賛助会員1社）
 - ・全国泳力認定基準等の改定について
 - ・健康スポーツ医科学委員選任の件

(3) 決議省略理事会（電子決議）

- 令和4年度 第1回 [令和04年04月22日 承認]
 - ・新規入会の承認（正会員2社、登録クラブ6クラブ）
- 令和4年度 第2回 [令和04年07月05日 承認]
 - ・新規入会の承認（登録クラブ3クラブ）
- 令和4年度 第3回 [令和04年08月18日 承認]
 - ・新規入会承認（正会員1社、登録クラブ3クラブ）
 - ・泳力認定委員選任の件
- 令和4年度 第4回 [令和04年08月18日 承認]
 - ・新規入会承認（登録クラブ1クラブ）
- 令和4年度 第5回 [令和04年11月11日 承認]
 - ・新規入会承認（正会員1社、登録クラブ2クラブ）

2. 各専門委員会実施事業

* 指導力向上委員会

(1) 委員会

- 第1回委員会 令和04年04月25日開催 於：文京シビックセンター
- 第1回SC協・日本水泳連盟合同検定委員会 令和04年04月25日開催
於：文京シビックセンター
- 指導力向上・安全水泳合同小委員会 令和04年09月03日開催
於：シュアステイプラスホテル
- 第2回委員会 令和04年10月31日開催 於：文京シビックセンター
- 第2回日本水泳連盟水泳教師委員会・SC協合同検定委員会 令和04年10月31日開催
於：文京シビックセンター
- 第3回委員会 令和05年02月06日 於：神戸市青少年会館

(2) 実施事業

- ストレス予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和04年05月07日～08日 於：シュアステイプラスホテル・スペックスイミングクラブ
参加者：24名
- 内科の疾患予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和04年06月04日～05日 於：入谷ホール・東京マリン西新井スイミング
参加者：54名
- 全国水泳指導者特別研修会 令和04年06月19日開催
於：ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター 参加者：47名
- アクアフィットネス・アクアダンスインストラクター全国研修会 令和04年07月10日開催
於：秋葉原UDX・東京マリン西新井スイミング 参加者：66名
- 循環器系疾患予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和04年09月03日～04日開催 於：シュアステイプラスホテル・スペックスイミングクラブ
参加者：25名
- アクアダンスインストラクター資格取得講習会 令和04年09月17日～18日
於：Luna 6 Fun・東京マリン西新井スイミング 参加者：12名
- 整形外科の疾患予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和04年11月05日～06日開催
於：入谷ホール加瀬会議室・東京マリン西新井スイミング 参加者：63名
- 転倒・寝たきり予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和05年02月04日～05日
於：シュアステイプラスホテル・スペックスイミングクラブ 参加者：32名
- 肥満予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和05年03月18日～19日開催
於：五反田カンファレンス貸会議室・ミミスイミングクラブ 参加者：40名

* 事業企画委員会

(1) 委員会

- 第1回委員会 令和04年05月16日開催 於：文京シビックセンター
- 第1回小委員会 令和04年07月25日開催 於：オンライン会議
- 第2回小委員会 令和04年09月07日開催 於：オンライン会議
- 第2回委員会 令和04年10月01日開催
於：高知市東部総合運動場屋内競技場 くろしおアリーナ会議室
- 第3回委員会 令和05年02月13日開催 於：本部事務局

(2) 実施事業

- ジュニアオリンピックカップ派遣研修 派遣日：令和04年08月20日～26日
於：東京辰巳国際水泳場
- 第43回JSCAブロック対抗水泳競技大会 令和04年10月01日～02日
於：高知市東部総合運動場屋内競技場 くろしおアリーナ

- 参加者：556名（個人：1,044種目・リレー：176種目・マルチクラス：19種目）
- 「JSCA クイーンズランドオープン遠征」引率者会議 令和04年11月9日
於：本部事務局
 - 第19回 JSCA クイーンズランドオープン遠征選手団派遣 令和04年12月07日～18日
於：ブリスベンアクアティックセンター
 - 第49回 JSCA 新年フェスティバル水泳競技大会 令和05年01月07日～15日
全国22会場で開催 参加者：872チーム・個人16,584名
（個人：39,510種目・リレー：2,269種目）
 - 第28回 JSCA マスターズ水泳通信記録会 令和05年01月01日～02月28日
各加盟登録クラブで開催 参加者：113クラブ・個人973名（個人：1,329種目）
 - 第45回 JSCA 全国マスターズスイミングフェスティバル 令和05年03月04日～05日
於：札幌市平岸プール 参加者：363名（個人：941種目・リレー：142種目）
 - グリコチャレンジスイム2022 第12回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会 運営協力
令和04年12月18日開催 於：古橋廣之進記念浜松市総合水泳場 ToBiO
 - ジュニアオリンピックカップ派遣研修 派遣日：令和04年08月20日～26日
於：東京辰巳国際水泳場
 - ジュニアオリンピックカップ派遣研修 派遣日：令和05年03月25日～30日
於：東京辰巳国際水泳場

* 安全水泳委員会

(1) 委員会

- 第1回委員会 令和04年05月23日開催 於：本部事務局
- 指導力向上・安全水泳合同小委員会 令和04年09月03日開催 於：シュアステイプラスホテル
- 第2回委員会 令和04年10月24日開催 於：ホテルマイステイズ札幌アスペン「メイプル」
- 第3回委員会 令和05年02月20日開催 於：本部事務局

(2) 実施事業

- 安全水泳法管理者資格取得講習会 令和04年08月16日～17日
於：サギヌマスイミングクラブ宮前平 参加者：03名
- 「JSCA プール管理責任者並びにプール衛生管理者」講習会
 - ①令和04年05月07日～08日開催 於：九州 鹿児島県老人福祉会館 参加者：14名
 - ②令和04年06月18日～19日開催 於：九州 久留米ビジネスプラザ 参加者：25名
 - ③令和04年06月04日～05日開催 於：東海 土田地区センター 参加者：13名
 - ④令和04年07月08日～09日開催 於：関東 測量年金会館 参加者：25名
 - ⑤令和04年08月13日～14日開催 於：北陸 リバティ水夢倶楽部（中止）
 - ⑥令和04年10月15日～16日開催 於：近畿 城星学園サンタマリアSS 参加者：13名
- クラブ内事故調査アンケート実施

* 泳力認定委員会

(1) 委員会

- 第1回委員会 令和04年05月開催 於：本部事務局（中止）
- 第2回委員会 令和04年10月01日開催 於：高知市東部総合運動場屋内競技場くろしおアリーナ
- 臨時委員会 令和04年12月20日開催 於：オンライン会議
- 第3回委員会 令和05年02月02日開催 於：本部事務局

(2) 実施事業

- 泳力認定会および段位の認定を各登録クラブにて開催
- 泳力認定員資格取得講習会及び更新講習会を各支部に於いて開催
 - 北海道支部・令和04年09月18日
 - 東北支部・令和04年11月20日（中止）
 - 関東支部・令和04年05月20日・11月11日
 - 信越支部・令和04年04月17日・11月20日
 - 北陸支部・令和04年09月18日（中止）
 - 東海支部・令和04年05月22日

近畿支部・令和04年10月04日

中国支部・令和04年10月04日

四国支部・実施なし

九州支部・令和04年05月30日

オンライン更新講習会・令和04年05月10日・09月08日・11月08日・令和05年01月13日・03月02日

○特別認定の実施

①令和04年10月01日～02日 第43回JSCAブロック対抗水泳競技大会

於：高知市東部総合運動場屋内競技場 くろしおアリーナ

②令和04年12月18日 グリコチャレンジスイム2022 第12回JSCA全国知的障害者水泳競技大会

於：浜松市総合水泳場 ToBiO

③令和05年03月04日・05日 第45回JSCA全国マスターズスイミングフェスティバル

於：札幌市平岸プール

○泳力認定事業の啓発活動の実施

○泳力認定事業推進登録クラブ表彰 令和04年06月16日開催

於：総会会場（中止）

○第23回ベストスイマー2022表彰式典 令和04年06月16日開催

於：総会会場（中止）

○ゴールドマスターズスイマー称号付与事業 令和04年04月01日～令和05年03月31日

* **健康スポーツ医科学委員会**

(1) 委員会

○令和05年01月12日 開催 於：東京（中止）

(2) 実施事業

○JSCA電子かわら版（毎月10日・25日発行）

* **障害者水泳委員会**

(1) 委員会

○第1回委員会 令和04年05月30日開催 於：オンライン会議

○第2回委員会 令和04年11月14日開催 於：オンライン会議

○第3回委員会 令和05年01月24日開催 於：オンライン会議

○第1回小委員会 令和05年02月06日開催 於：オンライン会議

(2) 実施事業

○第43回JSCAブロック対抗水泳競技大会マルチクラスレース協力

令和04年10月01日開催 於：高知市東部総合運動場屋内競技場 くろしおアリーナ

参加者：19名（パラ：8名・知的：9名・デフ：2名）

○グリコチャレンジスイム2022 第12回JSCA全国知的障害者水泳競技大会

令和04年12月18日開催 於：古橋廣之進記念浜松市総合水泳場 ToBiO

参加者：84チーム・個人334名（個人：923種目・リレー：27種目）

○JSCA障害者水泳指導者研修会

令和05年02月26日開催 於：邦和セミナープラザ会議室・邦和みなとスイミングスクール

参加者：8名

○JSCA障害者水泳指導者オンライン座談会

令和04年07月19日開催 参加者：18名

○横浜国際プール 第1回インクルーシブ水泳競技大会視察

令和04年07月17日 於：横浜国際プール

* **経営委員会**

(1) 委員会

○第1回委員会 令和04年04月26日開催 於：文京シビックセンター

○第2回委員会 令和04年07月14日開催 於：札幌グランドホテル

○第3回委員会 令和04年10月24日開催 於：札幌グランドホテル

(2) 実施事業

○令和04年度海外視察セミナー 令和04年10月 (中止)

○第36回全国トップマネジメントセミナー 令和04年10月25日・26日
於：札幌グランドホテル

○業界調査アンケート実施

○学校水泳授業民間受託に関する調査・文書作成

* **総務委員会**

(1) 委員会

○第1回委員会 令和04年05月13日開催 於：本部事務局

○第2回委員会 令和05年01月20日開催 於：本部事務局

(2) 実施事業

○主要会議の開催と円滑な運営

○事業報告・収支決算の策定取りまとめ

○功労者・優秀コーチ・優良指導者表彰

○SC協ニュースの発行 第226号～231号6部発行

○タイアップポスター実施

令和04年04月16日～05月15日掲載「ミラキュラス レディバグ&シャノワール」

令和04年05月11日～06月10日掲載「はい、泳げません」

令和04年06月08日～07月07日掲載「バズ・ライトイヤー」

令和04年07月25日～08月24日掲載「ソニック・ザ・ムービー/ソニック VS ナックルズ」

令和4年9月8日～10月7日掲載「ピノキオ」

令和4年12月1日～12月31日掲載「仮面ライダーギーツ×リバイス」

令和5年3月25日～4月24日掲載「ポケットモンスター（新シリーズ）」

* **5委員会合同会議** (特別会議)

(1) 合同会議

○第1回委員長会議 令和04年05月18日開催 於：ヴィアイン岡山

○第2回委員長会議 令和05年01月11日開催 於：本部事務局

* **組織検討委員会** (特別委員会)

(1) 委員会

○第1回委員会 令和04年11月15日開催 於：岡山第一セントラルビル2号館

※各種事業の中止は全て新型コロナウイルス感染拡大の影響による。

第12期 収支決算報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

2023/6/15

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から

令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基金収入	(0)	(0)	(0)
② 会費収入	(58,334,300)	(27,040,000)	(31,294,300)
正会員会費収入	11,118,300	0	11,118,300
登録クラブ年会費収入	42,107,700	21,240,000	20,867,700
賛助会員年会費収入	4,908,300	5,600,000	-691,700
入会金収入	200,000	200,000	0
③ 事業収入	(142,737,738)	(122,863,117)	(19,874,621)
指導力向上(委)	5,327,780	2,458,770	2,869,010
事業企画(委)	74,375,506	58,573,977	15,801,529
安全水泳(委)	2,217,960	581,680	1,636,280
泳力認定(委)	55,494,602	56,492,720	-998,118
健康スポーツ医科学(委)	0	0	0
障害者水泳(委)	1,314,000	1,375,650	-61,650
経 営(委)	1,626,000	485,500	1,140,500
総 務(委)	2,381,890	2,894,820	-512,930
組織検討(委)他	0	0	0
④ 負担金収入	(4,239,325)	(4,583,500)	(-344,175)
認定登録料	4,239,325	4,583,500	-344,175
水泳教師	[2,118,125]	[2,797,500]	[-679,375]
水泳インストラクター	[230,100]	[371,000]	[-140,900]
アクアフィットネス	[380,000]	[550,000]	[-170,000]
アクアダンス	[170,000]	[110,000]	[60,000]
メディカルアクア	[235,000]	[155,000]	[80,000]
安全水泳法	[1,106,100]	[600,000]	[506,100]
指導者登録	[0]	[0]	[0]
認定証料	[0]	[0]	[0]
印刷物頒布収入	0	0	0
⑤ 協賛金収入	(8,960,000)	(4,000,000)	(4,960,000)
⑥ 寄付金収入	(0)	(0)	(0)
⑦ 雑収入	(4,560,005)	(4,312,100)	(247,905)
受取利息	2,073	1,988	85
SC保険事務費	4,557,932	4,310,112	247,820
事務受託料	0	0	0
雑収入	0	0	0
経常収益計	218,831,368	162,798,717	56,032,651

	当年度	前年度	増減
(2) 経常費用			
① 事業費	(164,272,674)	(123,355,215)	(40,917,459)
交付金	21,029,700	21,240,000	-210,300
指導力向上(委)	6,705,629	6,668,387	37,242
事業企画(委)	91,696,924	59,317,707	32,379,217
安全水泳(委)	3,655,381	1,852,213	1,803,168
泳力認定(委)	22,187,789	19,297,868	2,889,921
健康スポーツ医学(委)	195,214	0	195,214
障害者水泳(委)	4,461,733	2,844,164	1,617,569
経 営(委)	5,507,135	2,668,803	2,838,332
総 務(委)	8,639,897	9,239,680	-599,783
組織検討(委)他	193,272	226,393	-33,121
② 管理費	(56,046,477)	(51,784,375)	(4,262,102)
給与・手当	17,391,935	16,701,655	690,280
賞与	3,408,030	4,138,720	-730,690
退職金	0	0	0
雑給	1,750,540	1,741,398	9,142
通勤手当	919,620	919,620	0
法定福利費	3,256,219	3,147,565	108,654
福利厚生費	34,294	36,710	-2,416
総会費	2,700,734	777,920	1,922,814
理事会費	4,095,971	3,381,077	714,894
慶弔費	434,000	58,400	375,600
事務用品費	2,068,654	1,592,710	475,944
旅費交通費	1,445,351	937,294	508,057
賃借料	5,503,848	5,913,708	-409,860
システム保守料	1,716,000	1,716,000	0
水道光熱費	234,254	206,591	27,663
通信費	3,639,098	2,762,168	876,930
印刷費	119,220	97,324	21,896
支払手数料	180,169	168,212	11,957
会議費	265,408	303,033	-37,625
消耗品費	0	90,786	-90,786
SC保険事務費	2,853,307	2,857,522	-4,215
租税公課	70,000	70,000	0
消費税	2,317,900	2,299,800	18,100
減価償却費	528,000	528,000	0
退職給付費用	675,000	951,100	-276,100
雑費	438,925	387,062	51,863
経常費用計	220,319,151	175,139,590	45,179,561
当期経常増減額	-1,487,783	-12,340,873	10,853,090
2 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,487,783	-12,340,873	10,853,090
一般正味財産期首残高	154,343,713	166,684,586	-12,340,873
一般正味財産期末残高	152,855,930	154,343,713	-1,487,783
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	152,855,930	154,343,713	-1,487,783

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1流動資産			
現金	1,598,111	1,530,546	67,565
普通預金	94,618,712	94,514,521	104,191
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
貯蔵品	120,000	120,000	0
未収金	2,603,182	3,000,000	-396,818
流動資産計	148,940,005	149,165,067	-225,062
2固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
(2)特定資産			
退職引当預金	4,396,500	3,721,500	675,000
(3)その他の固定資産			
建物附属設備	1	1	0
ソフトウェア	1,056,000	1,584,000	-528,000
電話加入権	240,621	240,621	0
敷金	742,560	742,560	0
その他固定資産計	2,039,182	2,567,182	-528,000
固定資産計	26,435,682	26,288,682	147,000
資産合計	175,375,687	175,453,749	-78,062
II 負債の部			
1流動負債			
未払金	2,147,728	20,000	2,127,728
預り金	15,975,529	17,368,536	-1,393,007
仮受金	0	0	0
流動負債計	18,123,257	17,388,536	734,721
2固定負債			
退職給付引当金	4,396,500	3,721,500	675,000
固定負債計	4,396,500	3,721,500	675,000
負債合計	22,519,757	21,110,036	1,409,721
III 正味財産の部			
1指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産へ充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2一般正味財産	152,855,930	154,343,713	-1,487,783
(うち基本財産へ充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	152,855,930	154,343,713	-1,487,783
負債正味財産合計	175,375,687	175,453,749	-78,062

財 産 目 録

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
Ⅰ 資産の部			
1流動資産			
現金	手許有高	1,598,111	
普通預金	三菱UFJ銀行江戸川橋支店	31,944,090	
	三菱UFJ銀行神保町支店	62,396,549	
	商工中金 新宿支店	278,073	
定期預金	商工中金 新宿支店	50,000,000	
貯蔵品	バッチ、ワッペン	120,000	
未収金	江崎グリコ(株)協賛金	2,000,000	
	マスタースフェスティバル立替(北海道支部)	603,182	
	流動資産計		148,940,005
2固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	商工中金 新宿支店	20,000,000	
(2)特定資産			
退職引当預金	三菱UFJ銀行江戸川橋支店	4,396,500	
(3)その他の固定資産			
建物附属設備		1	
ソフトウェア	泳力システム他	1,056,000	
電話加入権		240,621	
敷金	水道橋西口会館	742,560	
	その他固定資産計	2,039,182	
	固定資産計		26,435,682
資産合計			175,375,687
Ⅱ 負債の部			
1流動負債			
未払金	マスタースフェスティバル表彰費	1,047,728	
	マスタースフェスティバルコンピューター支援代	1,100,000	
	次年度年会費	15,840,000	
預り金	安全資格更新レポート代	4,950	
	源泉税	72,479	
	住民税	58,100	
	流動負債計		18,123,257
2固定負債			
退職給付引当金	職員分	4,396,500	
	固定負債計		4,396,500
	負債合計		22,519,757
正味財産合計			152,855,930

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載をしている。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,721,500	675,000	0	0	4,396,500

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年12月1日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

移動平均法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

役員及び職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付要支給額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

取得したリース物件の価額に重要性が乏しいため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職引当預金	3,721,500	675,000	0	4,396,500
小計	3,721,500	675,000	0	4,396,500
合計	23,721,500	675,000	0	24,396,500

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、つぎのとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	—	(20,000,000)	—
小計	20,000,000	—	(20,000,000)	—
特定資産				
退職引当預金	4,396,500	—	—	(4,396,500)
小計	4,396,500	—	—	(4,396,500)
合計	24,396,500	—	(20,000,000)	(4,396,500)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
附属設備	220,000	219,999	1
ソフトウェア	12,360,000	11,304,000	1,056,000
合 計	12,580,000	11,523,999	1,056,001

5. 関連当事者との取引の内容

該当する取引はない。

収 支 計 算 書

令和 4年 4月 1日から

令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

	予算額	決算額	差異	予算執行率
	(A)	(B)	(A-B)	
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基金収入	(0)	(0)	(0)	(-)
② 会費収入	(60,220,000)	(58,334,300)	(1,885,700)	(96.9%)
正会員会費収入	11,260,000	11,118,300	141,700	-
登録クラブ年会費収入	42,360,000	42,107,700	252,300	99.4%
賛助会員年会費収入	6,000,000	4,908,300	1,091,700	81.8%
入会金収入	600,000	200,000	400,000	33.3%
③ 事業収入	(159,002,000)	(142,737,738)	(16,264,262)	(89.8%)
指導力向上(委)	5,885,000	5,327,780	557,220	90.5%
事業企画(委)	88,900,000	74,375,506	14,524,494	83.7%
安全水泳(委)	2,175,000	2,217,960	-42,960	102.0%
泳力認定(委)	56,708,000	55,494,602	1,213,398	97.9%
健康スポーツ医科学(委)	0	0	0	-
障害者水泳(委)	1,019,000	1,314,000	-295,000	128.9%
経 営(委)	1,995,000	1,626,000	369,000	81.5%
総 務(委)	2,320,000	2,381,890	-61,890	102.7%
組織検討(委)他	0	0	0	-
④ 負担金収入	(7,350,000)	(4,239,325)	(3,110,675)	57.7%
認定登録料	7,350,000	4,239,325	3,110,675	57.7%
水泳教師	[3,500,000]	[2,118,125]	[1,381,875]	60.5%
水泳インストラクター	[600,000]	[230,100]	[369,900]	38.4%
アクアフィットネス	[1,200,000]	[380,000]	[820,000]	31.7%
アクアダンス	[150,000]	[170,000]	[-20,000]	113.3%
メディカルアクア	[200,000]	[235,000]	[-35,000]	117.5%
安全水泳法	[1,700,000]	[1,106,100]	[593,900]	65.1%
指導者登録	[0]	[0]	[0]	-
認定証料	[0]	[0]	[0]	-
印刷物頒布収入	0	0	0	-
⑤ 協賛金収入	(9,000,000)	(8,960,000)	(40,000)	(99.6%)
⑥ 寄付金収入	(0)	(0)	(0)	(-)
⑦ 雑収入	(4,570,000)	(4,560,005)	(9,995)	(99.8%)
受取利息	20,000	2,073	17,927	10.4%
SC保険事務費	4,500,000	4,557,932	-57,932	101.3%
事務受託料	0	0	0	-
雑収入	50,000	0	50,000	0.0%
事業活動収入計	240,142,000	218,831,368	21,310,632	91.1%

	予算額	決算額	差異	予算執行率
2事業活動支出				
①事業費支出	(177,240,000)	(164,272,674)	(12,967,326)	(92.7%)
交付金	21,180,000	21,029,700	150,300	99.3%
指導力向上(委)	6,059,000	6,705,629	-646,629	110.7%
事業企画(委)	94,790,000	91,696,924	3,093,076	96.7%
安全水泳(委)	3,725,000	3,655,381	69,619	98.1%
泳力認定(委)	29,120,000	22,187,789	6,932,211	76.2%
健康スポーツ医科学(委)	1,750,000	195,214	1,554,786	11.2%
障害者水泳(委)	5,501,000	4,461,733	1,039,267	81.1%
経 営(委)	5,195,000	5,507,135	-312,135	106.0%
総 務(委)	9,500,000	8,639,897	860,103	90.9%
組織検討(委)他	420,000	193,272	226,728	46.0%
②管理費支出	(57,250,000)	(54,843,477)	(2,406,523)	(95.8%)
給与・手当支出	16,500,000	17,391,935	-891,935	105.4%
賞与支出	3,800,000	3,408,030	391,970	89.7%
退職金支出	0	0	0	-
雑給支出	1,500,000	1,750,540	-250,540	116.7%
通勤手当支出	1,000,000	919,620	80,380	92.0%
法定福利費支出	3,200,000	3,256,219	-56,219	101.8%
福利厚生費支出	100,000	34,294	65,706	34.3%
総会費支出	2,000,000	2,700,734	-700,734	135.0%
理事会費支出	3,500,000	4,095,971	-595,971	117.0%
慶弔費支出	500,000	434,000	66,000	86.8%
事務用品費支出	1,500,000	2,068,654	-568,654	137.9%
旅費交通費支出	1,550,000	1,445,351	104,649	93.2%
賃借料支出	7,000,000	5,503,848	1,496,152	78.6%
システム保守料支出	1,700,000	1,716,000	-16,000	100.9%
水道光熱費支出	300,000	234,254	65,746	78.1%
通信費支出	4,500,000	3,639,098	860,902	80.9%
印刷費支出	300,000	119,220	180,780	39.7%
支払手数料支出	300,000	180,169	119,831	60.1%
会議費支出	800,000	265,408	534,592	33.2%
消耗品費支出	300,000	0	300,000	0.0%
SC保険事務費支出	3,100,000	2,853,307	246,693	92.0%
租税公課支出	0	70,000	-70,000	-
消費税支出	2,800,000	2,317,900	482,100	82.8%
雑費支出	1,000,000	438,925	561,075	43.9%
事業活動支出計	234,490,000	219,116,151	15,373,849	93.4%
事業活動収支差額	5,652,000	-284,783	5,936,783	-5.0%
Ⅱ投資活動支出				
退職引当預金取崩収入	0	0	0	-
投資活動収入計	0	0	0	-
退職引当預金支出	561,000	675,000	-114,000	120.3%
移転積立預金繰入支出	0	0	0	-
投資活動支出計	561,000	675,000	-114,000	120.3%
投資活動収支差額	-561,000	-675,000	114,000	120.3%
Ⅲ予備費支出	0	0	0	-
当期収支差額	5,091,000	-959,783	6,050,783	
前期繰越収支差額	107,568,000	131,656,531	-24,088,531	
次期繰越収支差額	112,659,000	130,696,748	-18,037,748	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、貯蔵品を除く流動資産及び流動負債を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目		前期末残高	当期末残高
現	金	1,530,546	1,598,111
普 通	預 金	94,514,521	94,618,712
定 期	預 金	50,000,000	50,000,000
未	収 金	3,000,000	2,603,182
	合 計	149,045,067	148,820,005
未	払 金	20,000	2,147,728
預	り 金	17,368,536	15,975,529
	合 計	17,388,536	18,123,257
次期繰越収支差額		131,656,531	130,696,748

委員会別収支計算書

令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月31日

(単位:円)

	指導力向上	事業企画	安全水泳	泳力認定	健康スポーツ 医科学	障害者水泳	経 営	総 務	合 計
収入の部									
参 加 収 入	4,296,800	61,739,790	1,907,290	55,491,071		1,102,000	1,626,000		126,162,751
広 告 収 入		930,000				11,000		2,283,000	3,224,000
教 本・指 導 本	971,180								971,180
プログラム売上		7,956,800				201,000			8,157,800
協賛金・助成金		1,014,800							1,014,800
記録証・終了証		203,995							203,995
在籍施設認定料	60,000		80,000						140,000
通 信 記 録 会		1,709,200							1,709,200
備品販売・貸出			121,770	3,531				98,890	224,191
支 部 負 担 金									-
そ の 他		820,921	108,900						929,821
収 入 合 計	5,327,780	74,375,506	2,217,960	55,494,602	-	1,314,000	1,626,000	2,381,890	142,737,738
支出の部									
委 員 会 費	892,426	694,100	1,200,975	739,450			1,138,853	577,800	5,243,604
会 場 費	1,247,167	13,488,855	222,000	31,900		552,990	1,383,460		16,926,372
会 議 費	26,600	1,746,355				43,140			1,816,095
印 刷 費	742,193	5,897,423	128,810	2,550,350			150,788	4,728,349	14,197,913
役 務 費		15,806,128				490,000			16,296,128
表 彰 費		7,533,805		2,440,820		339,836		1,188,660	11,503,121
通 信 費	572,423	613,412	1,050,905	1,464,862	4,300	307,427	241,434	863,336	5,118,099
旅 費 宿 泊 費	365,750	14,218,626	49,920	520,680	190,914	1,308,443	1,894,752	68,000	18,617,085
広 告 料									-
保 険 料		286,395				15,434	9,300	167,652	478,781
講 師 謝 金	1,886,720		882,387	224,918		183,481	550,000		3,727,506
懇 親 会 費	142,936	1,127,688		126,580		225,400	35,010		1,657,614
飲 食 代	81,987	1,034,684	6,489	8,634		60,140	103,538		1,295,472
消 耗 品		981,488	113,895						1,095,383
雑 費・そ の 他	2,947	103,722		4,779		74,462		3,300	189,210
参 加 賞		2,670,970		421,080		57,750			3,149,800
コンピューター支援等		2,585,000				495,000			3,080,000
大会種目料返金									-
作 成 費		1,268,425		1,102,320		208,230		894,300	3,473,275
退職者記念品代									-
公式グッズ仕入れ費								148,500	148,500
教本等仕入れ費	744,480								744,480
監視・警備員費		240,194							240,194
大会参加費用		213,738							213,738
登記・証明・出願費用		96,980							96,980
運営委託・総務費		6,439,218							6,439,218
支 部 協 力 金		14,649,718		12,551,416		100,000			27,301,134
支 出 合 計	6,705,629	91,696,924	3,655,381	22,187,789	195,214	4,461,733	5,507,135	8,639,897	143,049,702
収 支 差 額	-1,377,849	-17,321,418	-1,437,421	33,306,813	-195,214	-3,147,733	-3,881,135	-6,258,007	-311,964
本 部 交 付 金	174,000		1,550,000		1,750,000	3,482,000	1,200,000	7,180,000	15,336,000
本 部 助 成 金		6,000,000				1,000,000	2,000,000		9,000,000
差 し 引 き 額	-1,203,849	-11,321,418	112,579	33,306,813	1,554,786	1,334,267	-681,135	921,993	24,024,036

監 査 報 告 書

令和5年5月15日

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

会 長 三 宅 泉 殿

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

監 事 西川 良和



監 事 小本 晃彦



私は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの、一般社団法人日本スイミングクラブ協会の会計及び業務の監査を行い次の通り報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

- 1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討しました。
- 2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査の結果

- 1) 貸借対照表、正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の損益及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- 2) 事業報告書及びその附属明細書の内容は、当法人の状況を正しく示していると認めます。
- 3) 理事の職務執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以 上

独立監査人の監査報告書

令和5年5月12日

一般社団法人日本スイミングクラブ協会
理 事 会 御 中

監査法人 不二会計事務所

東京都台東区

代 表 社 員

業務執行社員 公認会計士

水谷 章

監査意見

当監査法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本スイミングクラブ協会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上